

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
																										
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】エコアクション21の認証取得を目指す。(2021年)			3.9				6	7						12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】地球環境保全向上のための行動指針をHPで公開する。														12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】工場やオフィスへの太陽熱利用パネルの設置・利用を行い、グリーン電力の使用に努める。							7.2								13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】森林認証のある木材を積極的に利用する。														12.2	13	14	15					
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を就業規則の一つとして社内周知を徹底。																				16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む、行動規範を就業規則の一つとして、社内周知を徹底。																					16	
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	自社の著作物の管理、HPで著作権帰属元の明記を行っている。								8.2	8.3	9												
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報に対する基本方針を定めてHPで公表し、体制を整備している。情報管理ルールを徹底している。																					16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【予定】材料仕入れ先等の自社の関係会社各社に、紛争鉱物の取り扱いが無いか確認書に記入・提出を依頼し、確認する。																						16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】自社の関係会社各社に、人権侵害防止等の取り組み状況の確認書に記入・提出を依頼し、確認する。						5			8		10					12	13	14	15	16	17	
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品使用時に想定されるリスクを洗い出し、安全性を確保した製品設計・作成・設置を行っている。				3.9												12.4						
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	常に品質向上・提供のために、基本方針・哲学を策定し、週に一度社員研修を行っている。万が一製品に関わる事故が発生した場合のために中小企業PL保険制度に加入している。																						
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】廃棄時に有害物質の出ない資材を積極的に採用する。								6								12	13	14	15			
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】過疎化問題解決をテーマに、地域に根ざしたワークショップ兼カフェのオープンを予定している。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
32	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域からの依頼を積極的に受け、設置物の定期メンテナンスを行っている。長野県屋外広告物条例に基づいた許可申請・製品づくりをしている。				4							9	11	12		14	15	17		
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域の次世代を担う人材(学生・こども)の育成機会(職場体験・インターンシップ)を提供している。				4								11			14	15	17		
34	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外銷)している	チャレンジ	【予定】長野県産木材を使用した看板製作を行う。											8	9	11	12	13				
35	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化している。経営者が理念をもち、適時経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している。												8	9					17	
36	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令遵守のために、週に一度、人として社会人として正しい働き方とは何かをテーマに全社員で話し合い、共有している。																		16	
37	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	責任者(担当役員)、CSR管理者を任命している。																		16	
38	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている。																		16	17
39	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	【予定】全部署でのリスクを可視化し、評価し、優先度の高いものから対策を講じ、実施する。																			16
40	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスを整備する。																			16
41	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】事業継続計画(BOP)の策定、定期的な訓練を実施する。												9	11				13 13.1		16
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】後継者候補がいる。サクセッションプラン(後継者育成計画)を作成し、検討を進めている。												8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)